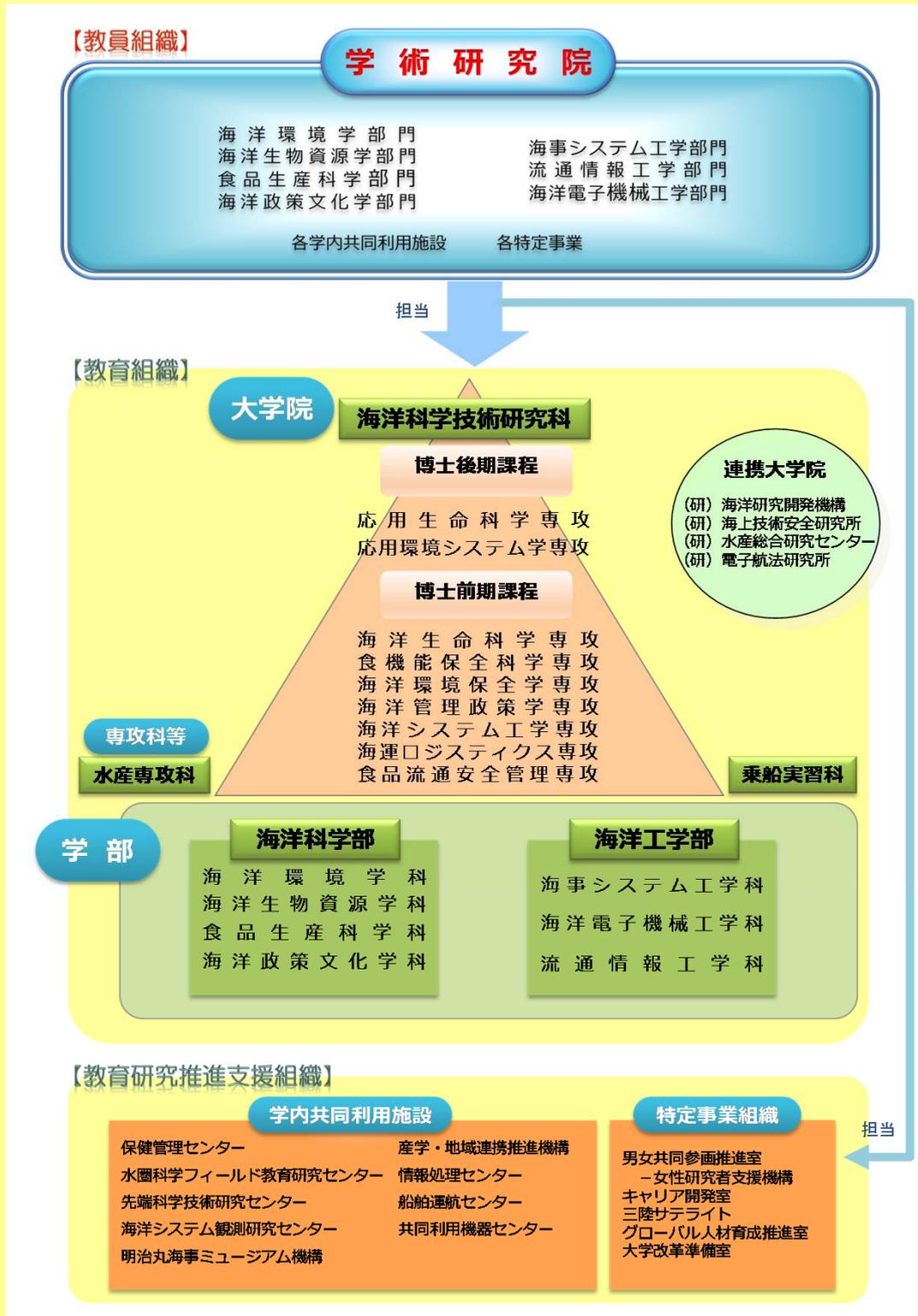


# 東京海洋大学教員組織運営体制の改革について

東京海洋大学では、全ての専任教員が所属する組織として、平成28年2月1日に新たに「**学術研究院**」を設置しました。

社会の人材育成・研究ニーズに対応するため、「**学術研究院**」に教員組織を完全に一元化すると共に、教員人事を一元的に管理する「**教員配置戦略会議**」を機動的に運営することにより、教員の流動性を全学的に向上、部門間の連携協力の推進を図ります。

教員は学術研究院に所属し、学部、大学院、学内共同利用施設及び特定事業組織における教育、研究及び運営等の職務を担当します。



## 教員組織運営体制の改革の目的

教育研究の基軸を大学院に移した平成24年4月の大学院改組に続き、本学における新たな大学改革推進の一環として組織運営体制を見直し、東京海洋大学が果たすべき役割としての「海洋に関する国際的に卓越した教育研究拠点の形成」及び「研究者を含む高度専門職業人の養成」を一層強固にすることを目的とする。

## 期待される効果

平成24年4月に実施した大学院改組で期待された、①教員の役割・責任範囲の明確化、②学部学科・大学院専攻の組織の枠を越えた一貫教育、横断教育の充実（柔軟な教育プログラムの創設）、③学部教育、カリキュラムの充実に加えて、今回、教員組織と教育組織を完全に分離することにより、以下の効果が期待され、組織の将来を見据えた多様な事態への対応が可能となる。

1. 柔軟な授業供給体制の確立
2. 分野横断的な研究の推進
3. 人員の最適配置と合理化

# 東京海洋大学教員配置戦略会議について

東京海洋大学では、機能強化に向けたガバナンス改革の一環として、学長主導のもと、全学の教員の配置・選考等を一元的に管理するため、平成27年4月から「**教員配置戦略会議**」を設置しています。

教員配置戦略会議は、学長が主催し、複数の外部有識者と学内委員で構成し、本学の教育機能・研究機能を強化するための戦略ビジョンに基づく、全学の教員の人事方針の構築・共有化を推進しています。

## 教員配置戦略会議設置の目的

- ・ 教育機能・研究機能を強化するための戦略ビジョンに基づく、全学の教員の人事方針の構築・共有化
- ・ 学術研究院の設置により一元化した教員組織について、部門の在り方の不断の見直し
- ・ 教員の効果的・効率的配置について検討し、中長期的人員管理計画を策定
- ・ 外部有識者の視点を交えることにより、産業界等の人材育成ニーズ、研究ニーズを恒常的に取り込む

## 期待される効果

1. 教員の流動性を高めることによる戦略的研究機能の強化
2. 全学的な人的資源の再配分、重点化の実施
3. 部門の不断の見直し、再編成が可能な組織体制の実現
4. 社会の人材育成・研究ニーズを恒常的に取り込む体制の整備

